



第35回日整全国少年柔道大会 茨城県大会を開催 第16回日整全国少年柔道形競技会

7月26日(日)筑波大学武道館柔道場において、「第35回日整全国少年柔道大会」および「第16回日整全国少年柔道形競技会」茨城県大会(公益社団法人茨城県柔道整復師会主催、茨城県柔道連盟後援)が開催されました。

当日は、4年生51名、5年生60名、6年生60名の柔道を学ぶ少年・少女171名の選手が出場しました。

開会式では箱守志農夫大会会長(公益社団法人茨城県柔道整復師会会長)から、『この柔道大会は、柔道を通じて少年少女の健全な心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦を深め、柔道の発展に寄与することを目的に今年で35回を迎えております。また、形競技会についても、今年で16回を迎えており、大変歴史と伝統のある大会であります。選手の皆様方は、日頃ご指導いただいている先生方の教えを胸に強い心と持ちまへのバイタリティーで練習の成果を精一杯発揮され、是非とも素晴らしい成績を収められることを期待しております。』と激励のあいさつがありました。

開会式の後、形競技会が開催され、「取」と「受」からなる6組の選手が出場しました。競技が始まると大勢の観衆がいるにもかかわらず、ほとんど物音が無い静寂な会場に変わり、選手たちの緊張が伝わってきました。各組の競技が終わるたびに、拍手だけが聞こえ、300名以上の大勢の観衆も真剣に見入っていました。

続いて、行われた柔道大会では、学年毎のトーナメント戦による熱戦が繰り広げられました。試合時間は2分と短い為、各試合場激しく攻め合う試合展開が多く見られました。

試合前に、佐間田仁審判長からの試合上の注意の中で、「試合中に大勢の声援で審判の声が選手に聞こえず、危険な場合があります。応援は拍手のみでお願いします。」と説明されたとおり、今年は審判の声が聞こえ、以前の大会より応援のマナーも向上した大会となりました。

試合後の表彰式では、本大会の講評として、茨城県柔道連盟の長島宏幸小学生部部長より、「昨年の日整全国大会の団体戦チームの結果は、惜しくも3位でした

が茨城県のレベルの高さを証明してくれました。普段、両親や先生たちのおかげで柔道ができていることを忘れず、長く柔道を続けてください。そして、茨城のレベルが高いと示せるように頑張ってください。」とのお言葉をいただきました。

全国大会の代表選手は次のとおりです。

柔道の部

監督 雨谷 紀雄

- 4年生の部 優 勝 吉川 悠陽 (高道祖道場)
- 5年生の部 優 勝 相沢 咲太郎 (高萩市柔道スポーツ少年団)
- 5年生の部 準優勝 渡邊 拓也 (中郷柔道スポーツ少年団)
- 6年生の部 優 勝 国兼 隼翔 (竹来柔道クラブ)
- 6年生の部 準優勝 坂入 玲音 (高道祖道場)



形の部

監督 森田 桂一

(取)篠崎 莉々奈 (石下柔道部)

(受)中田 千代



(広報部副部長 羽田 直裕)